

# 建築文化賞

ユニバーサルデザインに配慮した建築物

建築主：竹内弘

設計：空間研究所

施工：株式会社佐藤秀

所在地：富津市大堀2丁目14-15

乳児からお年寄りまで地域住民の健康を預かる

## 竹内医院



外観 住宅街の街並みに同行する木造2階建てのスケール

竹内医院は、初代院長が大正時代より地域住民の健康を第一に考え高い志を持って、この地に医院を開業、診療にあたってきたという。長年親しまれてきた医院を、近年の医療技術の向上に追随し最新機器を設備し新しい医療サービスを提供すべく、近接した当地に移転新築したものである。木造2階建て、延べ面積491.06㎡。

住宅の建ち並ぶ街並みに溶け込むように、建物の裏に駐車場を配置して、歩いて来院する人と車での来院者を分離、2方向からの入口が設けられ、安全が確保されている。

ゆったりとしたスロープで導かれて入口を入ると、吹き抜けのある明るく暖かな雰囲気のある待合室。誰もが快適に待つことができるようにと細やかに配慮されている。感染症で来院の人のためには入口から分離された待合室、住宅のようなスケールの小上がりのあるキッズコーナーと、さりげなく設けられた授乳室の位置にも優しさが感じられてうれしい。複数の診察室と様々な検査室は行き止まりのない明るい回遊式廊下で繋がり、ドアの色とわかりやすい美しいサインが標されている。

て、多くの機能を持つ院内でも、どこにいても誰もが自分の居場所が確認できて安心である。様々な障害への対応が残るものの、体調が悪いときは勿論のこと、予防接種などの予防医療、乳児検診・がん検診でも、医療の場に出向くことには緊張を強いられるものであるが、医療を「サービス」として提供しようという医院の姿勢が空間全体から感じられ、心が解き放される誰にも優しいユニバーサルデザインとして評価したい。

(夏目幸子)



メインアプローチ。デザインされたスロープで機能性とデザイン性を融合。



遊び心のある診察室のドア。ハイサイドライトでくまなく明るい院内。(撮影/新 良太)